

えひめいやしの南予博 おさかな
が好き宇和島withととけん

6 / 26

6月26日(日)、市の水産振興を目的として、水産に関する体験イベントや水産物の出店販売などを実施する「おさかなが好き宇和島withととけん」がきさいや広場で開催されました。

松野町にある「虹の森公園おさかな館」の協力による移動水族館・ふれあい水槽・ペンギンの散歩、宇和島水産高校の生徒による魚拓講座、真珠アクセサリ作り体験、ちりめんじゃこの網に紛れ込んだ珍しい魚を探す『ちりめんモンスターを探せ』などの体験が行われました。

また、魚との「旨い」出会いを応援する取り組みとして「第7回日本さかな検定」が市役所で同時開催され、105人の受験者が自分の魚に関する知識を試しました。

吉田高校・宇和島東高校
生徒による市議会傍聴

6 / 21

6月21日(火)、吉田高校と宇和島東高校の生徒約80人が宇和島市議会 6月定例会を傍聴しました。

今回の傍聴は、選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられたことから、新たに有権者となる高校生に議会への関心を持ってもらおうと、市議会事務局が市内6高校に呼びかけを行い、2校が参加して実施されました。

上田 富久 市議会議長は、「政治、選挙に関心を持ち、しっかり勉強して帰ってください」と、傍聴する生徒に向けて挨拶しました。傍聴した生徒は、時折メモを取りながら、真剣な表情で一般質問の様子を見つめ、議会を体感しました。

市議会事務局では、今後も市民の皆さんが市議会を身近に感じられる取り組みを行っていきます。

映画「海すずめ」先行上映会・出演者舞台挨拶
九島「海すずめ展望所」開所式

6 / 25

ほぼ全編を宇和島ロケで撮影した映画「海すずめ」の上映会が、7月2日(土)からの全国上映に先駆け、6月25日(土)に南予文化会館で行われました。当日は3回の上映があり、約2,000人と多くの人々が来場し、宇和島を舞台にした映画を楽しみました。

また、当日は映画の出演者による舞台挨拶も行われ、それぞれが映画の完成と上映を喜びとともに、撮影当時の様子や映画への思いを話していました。大森 研一 監督は、「今はオールロケでオリジナルの作品を撮影するのがとても難しい。地元の人々の協力無くしてはできないので、『海すずめ』は宇和島だからできた映画だと思う。これから宇和島の魅力を全国に発信していきます」と挨拶しました。



同日には、九島大橋のそばに新たに開設される「海すずめ展望所」の開所式が行われ、石橋 寛久 市長、上田 富久 市議会議長、九島地区関係者のほか、大森 研一 監督、武田 梨奈さん、小林 豊さんら映画「海すずめ」関係者が出席し、開所を祝いました。

「海すずめ展望所」は、九島大橋の開通により開設された展望所で、市内を一望できる地元の花園「望橋園」の手前に位置します。映画「海すずめ」では、九島内で数多く撮影が行われたこともあり、新たに開設される展望所を「海すずめ展望所」と命名しました。

武田 梨奈さんは、「映画のタイトルが宇和島の名所に名前として残るのがうれしく、感無量です」と、完成を喜びました。

映画「海すずめ」は8月上旬まで上映予定です。

